

目次

★ 発生動向総覧	P 1 ～ 3
★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況	P 4
★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P 4 ～ 5
★ 全数把握感染症集計表	P 6
★ 定点把握感染症集計表	P 7 ～ 1 1
★ 定点把握感染症推移グラフ	P 1 2 ～ 1 6
★ 定点把握感染症集計表（月報）	P 1 7 ～ 2 0
★ 定点把握感染症推移グラフ（月報）	P 2 1 ～ 2 2
★ 季節性インフルエンザの状況	P 2 3 ～ 2 4
★ 新型コロナウイルス感染症の状況	P 2 5 ～ 3 1
★ 東京都で麻しん（はしか）患者が発生しました（報道提供資料）	P 3 2 ～



発生動向総覧

《第19週コメント》5月18日集計分

県内のインフルエンザの定点当たり報告数が0.93となり、流行期の目安である1以下となりました。

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（東部（1）、富士（2）、西部（1）、浜松市（2））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 レジオネラ症（東部（1））
- 5 類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（静岡市（1）、浜松市（1）、クロイツフェルト・ヤコブ病（静岡市（1））、侵襲性肺炎球菌感染症（西部（1））、梅毒（東部（1）、静岡市（2）、浜松市（4））

◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

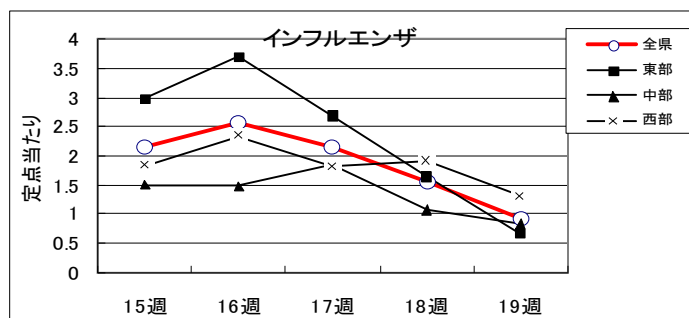
令和5年第19週(5/8～5/14)の動向

COVID-19（新型コロナウイルス感染症）
第19週からCOVID-19の届出基準が、全数把握から定点把握の五類感染症となった。全県で罹患数290、定点当たり2.09の患者発生があった。定点当たりは、東部地区で2.78、中部地区で1.50、西部地区で1.87の発生があった。

	COVID-19	
	累積	定当
総数	290	2.09
静岡市	32	1.28
浜松市	38	1.36
賀茂	5	1.67
熱海	13	2.17
御殿場	40	6.67
富士	50	3.33
東部	31	1.55
中部	31	1.82
西部	50	2.63
東部地区	139	2.78
中部地区	63	1.50
西部地区	88	1.87

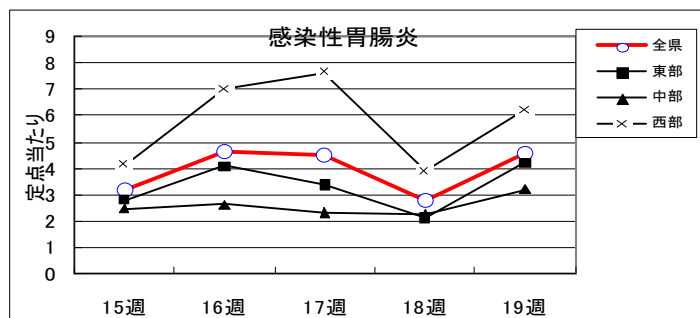
インフルエンザ

全県で罹患数129、定点当たり0.93の患者発生があり、県全体では減少した。定点当たりは、東部地区で0.66、中部地区で0.83、西部地区で1.30の発生があった。



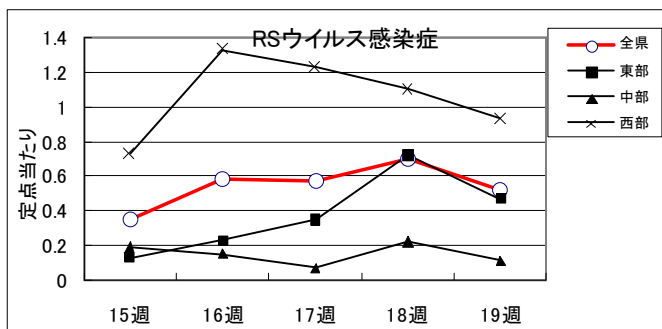
感染性胃腸炎

全県で罹患数408、定点当たり4.58の患者発生があり、前週の2.76から増加した。定点当たり東部地区で4.22、中部地区で3.22、西部地区で6.20の患者が発生した。



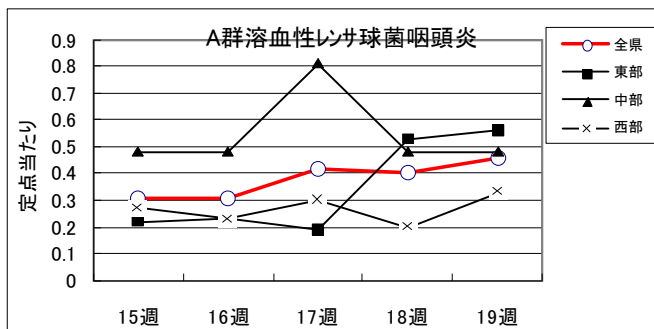
RSウイルス感染症

全県で罹患数46、定点当たり0.52の患者発生があり、前週の0.70から減少した。定点当たり東部地区で0.47、中部地区で0.11、西部地区で0.93の患者が発生した。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

全県で罹患数41、定点当たり0.46の患者発生があった。定点当たり東部地区で0.56、中部地区で0.48、西部地区で0.33の患者が発生した。

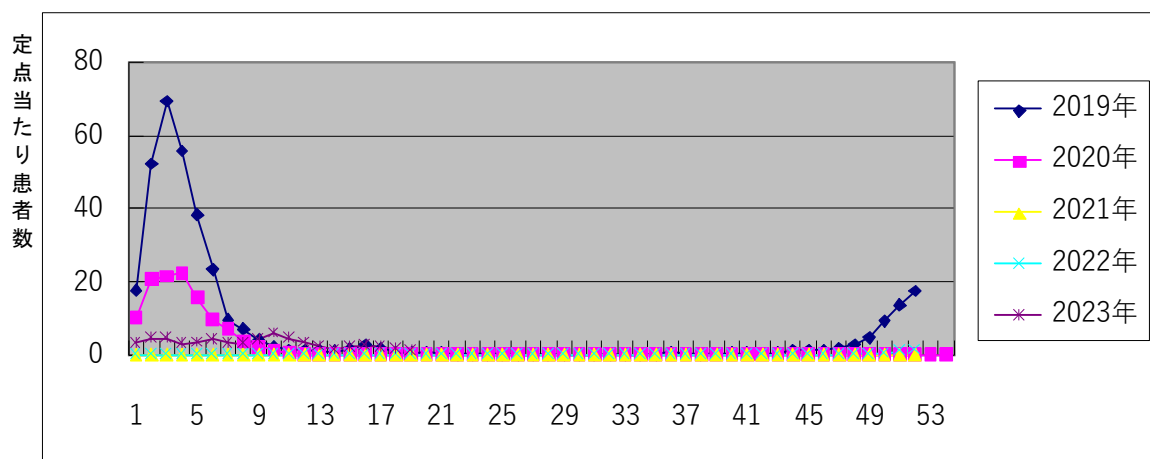


・風疹、麻疹とも患者発生なし。

・全国のインフルエンザの発生は1.36で前週の1.70から減少した。警報及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は4に減少した。

・静岡県において第19週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)感染性胃腸炎(4.58)、2)COVID-19 (2.09)、3)インフルエンザ(0.93)、4)RSウイルス感染症 (0.52)、5)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (0.46)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

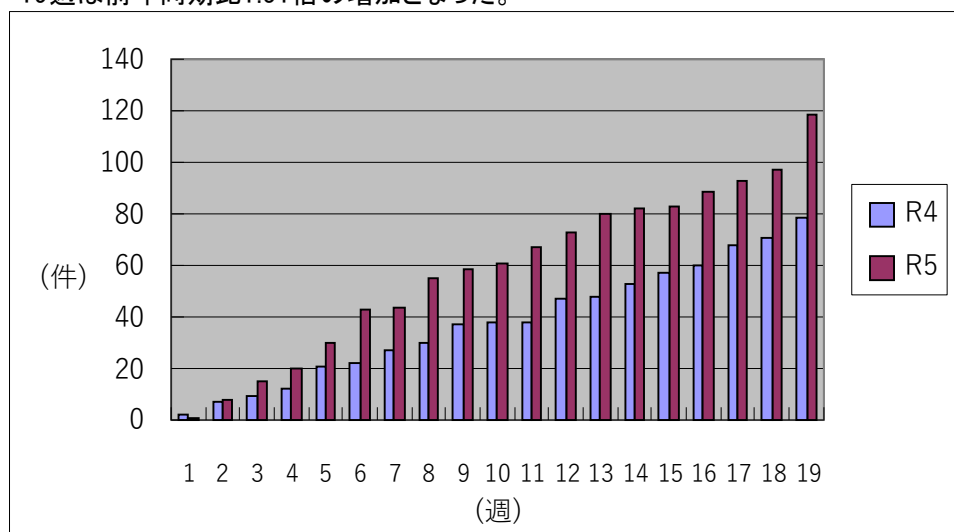


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2022/2023シーズン)】
(令和4年36週～令和5年19週)

		検体搬入数	A/H1 pdm09	A/H3	B/山形 系統	B/Victoria 系統
R4 36～52週	静岡県	9		5		
	静岡市	3		1		
	浜松市	0				
R5 1週		0				
2週	静岡県	3		3		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
3週	静岡県	5		4		
	静岡市	5		5		
	浜松市	0				
4週	静岡県	4		2		
	静岡市	6		6		
	浜松市	1		1		
5週	静岡県	2		2		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
6週	静岡県	10		6		
	静岡市	2				
	浜松市	0				
7週	静岡県	1		1		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
8週	静岡県	2				
	静岡市	3		3		
	浜松市	0				
9週	静岡県	1				
	静岡市	2		2		
	浜松市	0				
10週	静岡県	7		5		
	静岡市	2		2		
	浜松市	0				
11週	静岡県	4		3		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
12週	静岡県	4		4		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
13週	静岡県	3		1		
	静岡市	2		2		
	浜松市	0				
14週	静岡県	4		4		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
15週	静岡県	0		0		
	静岡市	2		1		1
	浜松市	0				
16週～18週	静岡県	0				
	静岡市	0				
	浜松市	0				
19週	静岡県	2	1	1		
	静岡市	0				
	浜松市	0				

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・19週は前年同期比1.51倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 なし

注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第19週（令和5年5月8日～令和5年5月14日）

かわぶクリニック（河津町）「带状疱疹 1名（71歳女性）」

窪田医院（三島市）「インフルエンザ型 1名、新型コロナ 1名（11歳男児）」

光ヶ丘小児科（三島市）「RSウイルス 4名、咽頭アデノ 4名、ヒトメタニューモウイルス 1名、新型コロナ 7名」

函南平出クリニック（函南町）「インフルエンザA型 5名、便アデノ 1名（女児）、RSウイルス 1名、アデノ 7名、突発性発疹 1名」

白十字小児科医院（沼津市）「インフルエンザA型 1名」

岩渕内科（沼津市）「インフルエンザA型 1名」

なかがわ医院（小山町）「インフルエンザA型 2名」

たうち小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 1名」

お八幡医院（御殿場市）「インフルエンザA型 1名」

小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザ 1名（女性）、新型コロナ 12名（男性6名、女性6名）」

三浦医院（富士宮市）「インフルエンザ 1名（女性）」

木村内科医院（富士市）「新型コロナ 1名（女性）」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「新型コロナ 10名（男性6名、女性4名）」

幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 2名（男性1名、女性1名）、新型コロナ

ナ 1名（男性）」

田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザ 1名（女性）、新型コロナ 13名（男性7名、女性6名）」

瀬尾小児科内科医院（富士市）「新型コロナ 3名（男性1名、女性2名）」

聖隷富士病院（富士市）「インフルエンザA型 1名、新型コロナ 4名（男性2名、女性2名）」

富士宮市立病院（富士宮市）「新型コロナ 1名（女性）」

水野医院（島田市）「インフルエンザA型 1名（40歳代男性）」

ふたばクリニック（磐田市）「インフルエンザA型 1名」

きもと小児科（湖西市）「インフルエンザA型 1名」

今西こどもクリニック（浜松市）「インフルエンザ 7名、新型コロナ 1名」

げんきこどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 3名、新型コロナ 1名」

いぬかい小児科（浜松市）「インフルエンザA型 5名、新型コロナ 2名」

すずきこどもクリニック（浜松市）「インフルエンザ 7名、新型コロナ 1名」

幸田子供クリニック（浜松市）「インフルエンザ 4名」

たなか小児科（浜松市）「インフルエンザ 6名、新型コロナ 2名」

天竜こども医院（浜松市）「アデノウイルス咽頭炎 1名（2歳）、インフルエンザ 8名、新型コロナ 1名」

春野診療所（浜松市）「新型コロナ 1名」

小児科竹内医院（浜松市）「インフルエンザA型 1名、新型コロナ 5名」

小松診療所（浜松市）「新型コロナ 1名」

金指こどもクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 3名」

縣医院（浜松市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 3名」

遠州病院（浜松市）「新型コロナ 1名」

総合病院浜松赤十字病院(内科)（浜松市）「新型コロナ 1名」

くまがいクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 1名、新型コロナ 4名」

高平内科（浜松市）「新型コロナ 2名」

大竹内科医院（浜松市）「新型コロナ 7名」

宮口こんどうクリニック（浜松市）「インフルエンザA型 1名」

みかえ内科クリニック（浜松市）「新型コロナ 1名」

すずしろクリニック（浜松市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 1名」

のずえ内科呼吸器クリニック（浜松市）「新型コロナ 3名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況(R4-R5シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	3,760名	98%
インフルエンザB型	95名	2%

2023年 19 週

疾患名	区分	静岡県							全国				
		14週	15週	16週	17週	18週	今週	年累計	16週	17週	18週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		6	5	7	4	1	6	113	236	249	121	239	4,612
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
新型コロナウイルス		1,038	1,135	1,424	1,331	1,402		173,109	63,652	73,081	76,728		33,797,708
コレラ													1
細菌性赤痢									2				
腸管出血性大腸菌感染症				1				6	26	35	18	32	409
腸チフス												2	16
パラチフス													5
E型肝炎								1	10	9	4	21	224
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎									2	1			22
エキノコックス症													4
炭熱													
オウム病													2
オムスク出血熱													
回帰熱													1
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症										1			1
サル痘								1	7	5	7	14	139
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群			1					1	3	4	3	8	43
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
テクングニア熱													1
つつが虫病									3	5	3	4	78
デング熱									1	2	1		24
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱									12	5	6	14	59
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア													6
野兔病													
ライム病													
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症			1	1			1	13	28	27	20	31	489
レプトスピラ症									1				3
ロッキー山紅斑熱													
ア메ーバ赤痢					2			8	9	11	3	7	184
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									1	6	1	7	98
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2	11	28	24	18	29	642
急性弛緩性麻痺									1	1		1	18
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)	2							10	6	9	1	3	163
クリプトスポリジウム症													2
クロイツフェルト・ヤコブ病							1	2	1	4		2	52
劇症型溶血性レンサ球菌感染症			1					8	14	13	5	6	304
後天性免疫不全症候群						1		3	7	11	4	15	323
ジアルジア症								2		1			20
侵襲性インフルエンザ菌感染症								3	9	8	9	16	141
侵襲性髄膜炎菌感染症											1		5
侵襲性肺炎球菌感染症				1		1	1	16	22	31	23	50	669
水痘(入院例に限る)	1							2	6	7	3	10	124
先天性風しん症候群													
梅毒	2			3	2	3	7	119	182	185	101	218	5,164
播種性クリプトコックス症								1	3	4	1	1	70
破傷風								1		4			18
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1							4		1	2	2	56
百日咳								3	7	16	6	14	220
風しん									1			1	5
麻疹												3	7
薬剤耐性アシネトバクター感染症												1	6
新型インフルエンザ等感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 19 週

	静岡県							全国				
	14週	15週	16週	17週	18週	今週	計	16週	17週	18週	今週	計
RSウイルス感染症	32	31	51	50	62	46	272	3,494	3,384	3,087	3,243	13,208
咽頭結膜熱	27	22	17	22	24	30	142	828	987	879	1,443	4,137
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	28	27	37	36	41	196	2,540	2,570	1,837	3,152	10,099
感染性胃腸炎	262	281	408	397	246	408	2,002	15,496	15,503	10,898	16,528	58,425
水痘	2	8	8	5	5	15	43	293	283	229	344	1,149
手足口病	7	11	11	8	13	26	76	619	582	492	576	2,269
伝染性紅斑	1	2	2			4	9	38	34	35	62	169
突発性発しん	13	14	25	31	25	37	145	1,007	1,042	789	1,143	3,981
ヘルパンギーナ	2		3	2	13	16	36	871	1,020	886	1,034	3,811
流行性耳下腺炎	6	1	1	1	6	1	16	109	107	96	122	434
インフルエンザ	183	298	353	295	217	129	1,475	12,291	10,945	8,316	6,648	38,200
新型コロナウイルス感染症						290	290				12,922	12,922
急性出血性結膜炎			1				1	12	10	7	12	41
流行性角結膜炎	2	1		5		4	12	193	170	158	274	795
細菌性髄膜炎	1						1	2	5	11	6	25
無菌性髄膜炎			3				3	9	12	12	7	44
マイコプラズマ肺炎		1		1			2	10	22	11	20	63
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								4				4
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								4	6	3	3	16

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 19 週

	静岡県						全国			
	第14週	第15週	第16週	第17週	第18週	今週	第16週	第17週	第18週	今週
RSウイルス感染症	0.36	0.35	0.57	0.56	0.70	0.52	1.12	1.08	0.99	1.04
咽頭結膜熱	0.30	0.25	0.19	0.25	0.27	0.34	0.26	0.32	0.28	0.46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.30	0.31	0.30	0.42	0.40	0.46	0.81	0.82	0.59	1.01
感染性胃腸炎	2.94	3.16	4.58	4.46	2.76	4.58	4.95	4.96	3.49	5.28
水痘	0.02	0.09	0.09	0.06	0.06	0.17	0.09	0.09	0.07	0.11
手足口病	0.08	0.12	0.12	0.09	0.15	0.29	0.20	0.19	0.16	0.18
伝染性紅斑	0.01	0.02	0.00			0.04	0.01	0.01	0.01	0.02
突発性発しん	0.15	0.16	0.28	0.35	0.28	0.42	0.32	0.33	0.25	0.36
ヘルパンギーナ	0.02		0.03	0.02	0.15	0.18	0.28	0.33	0.28	0.33
流行性耳下腺炎	0.07	0.01	0.01	0.01	0.07	0.01	0.03	0.03	0.03	0.04
インフルエンザ	1.32	2.14	2.54	2.12	1.56	0.93	2.51	2.24	1.70	1.36
新型コロナウイルス感染症						2.09				2.63
急性出血性結膜炎			0.05				0.02	0.01	0.01	0.02
流行性角結膜炎	0.09	0.05		0.23		0.18	0.28	0.25	0.23	0.39
細菌性髄膜炎	0.10						0.00	0.01	0.02	0.01
無菌性髄膜炎			0.30				0.02	0.03	0.03	0.01
マイコプラズマ肺炎		0.10		0.10			0.02	0.05	0.02	0.04
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.01			
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

 Infectious Diseases Weekly Report Shizuoka

感染症 19 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	46	0.52	30	0.34	41	0.46	408	4.58	15	0.17
賀茂					1	0.50	5	2.50		
熱海							20	5.00		
東部	15	1.15	8	0.62	5	0.38	69	5.31		
御殿場			6	1.50	11	2.75	20	5.00	1	0.25
富士					1	0.11	21	2.33		
静岡市	3	0.19	3	0.19	5	0.31	43	2.69		
中部			3	0.27	8	0.73	44	4.00	1	0.09
西部	9	0.75	3	0.25	1	0.08	56	4.67	4	0.33
浜松市	19	1.06	7	0.39	9	0.50	130	7.22	9	0.50

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	26	0.29	4	0.04	37	0.42	16	0.18	1	0.01
賀茂			1	0.50	1	0.50				
熱海					1	0.25				
東部					4	0.31	4	0.31		
御殿場					2	0.50			1	0.25
富士	4	0.44	1	0.11	6	0.67				
静岡市	3	0.19	2	0.13	5	0.31	5	0.31		
中部	14	1.27			4	0.36	1	0.09		
西部	2	0.17			9	0.75	4	0.33		
浜松市	3	0.17			5	0.28	2	0.11		

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	129	0.93	290	2.09	0	0	0	0	89	50
賀茂	8	2.67	5	1.67					2	1
熱海	6	1.00	13	2.17					4	2
東部	9	0.45	31	1.55					13	7
御殿場	4	0.67	40	6.67					4	2
富士	6	0.40	50	3.33					9	6
静岡市	15	0.60	32	1.28					16	9
中部	20	1.18	31	1.82					11	6
西部	9	0.47	50	2.63					12	7
浜松市	52	1.86	38	1.36					18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 19 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		4	0.18	0		0		0	
賀茂										
熱海										
東部										
御殿場										
富士			2	0.67						
静岡市										
中部										
西部										
浜松市			2	0.67						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

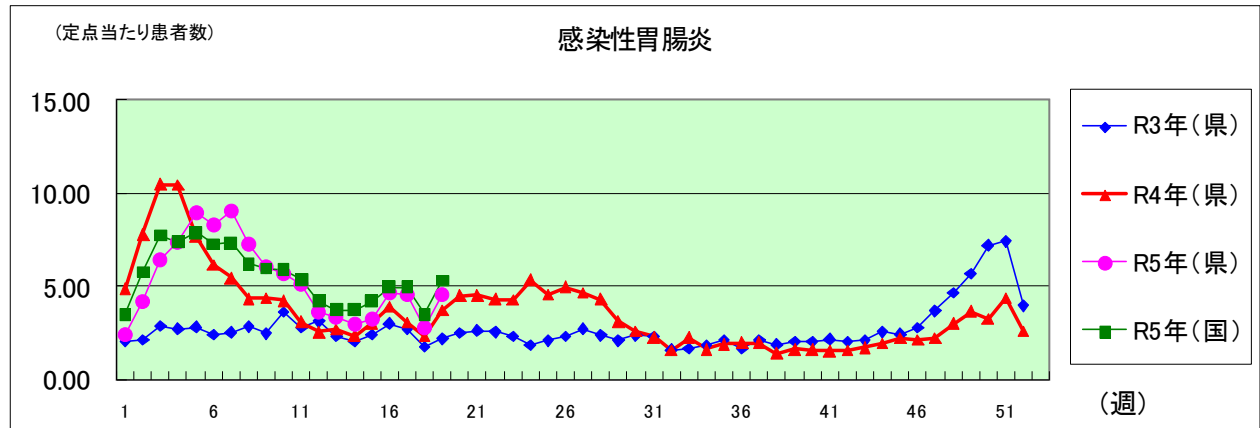
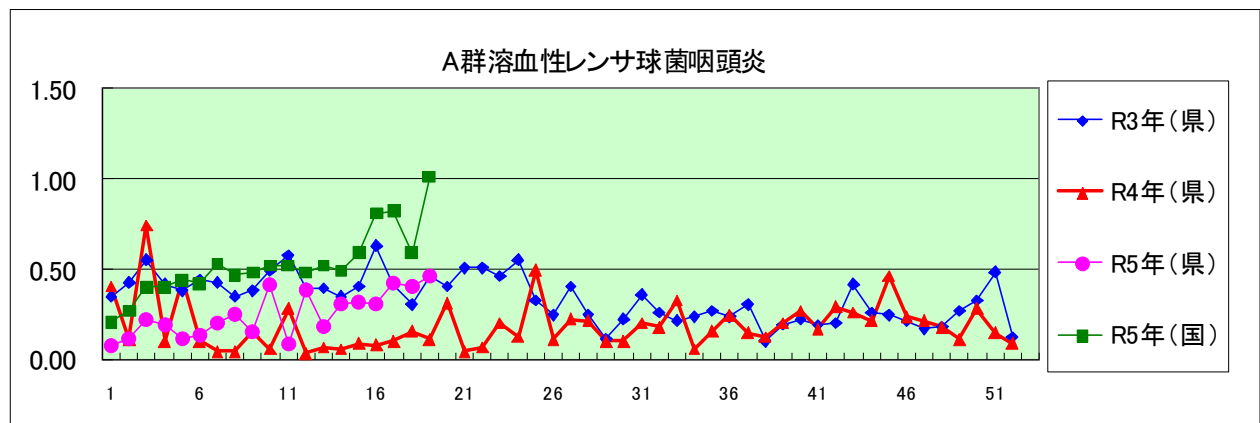
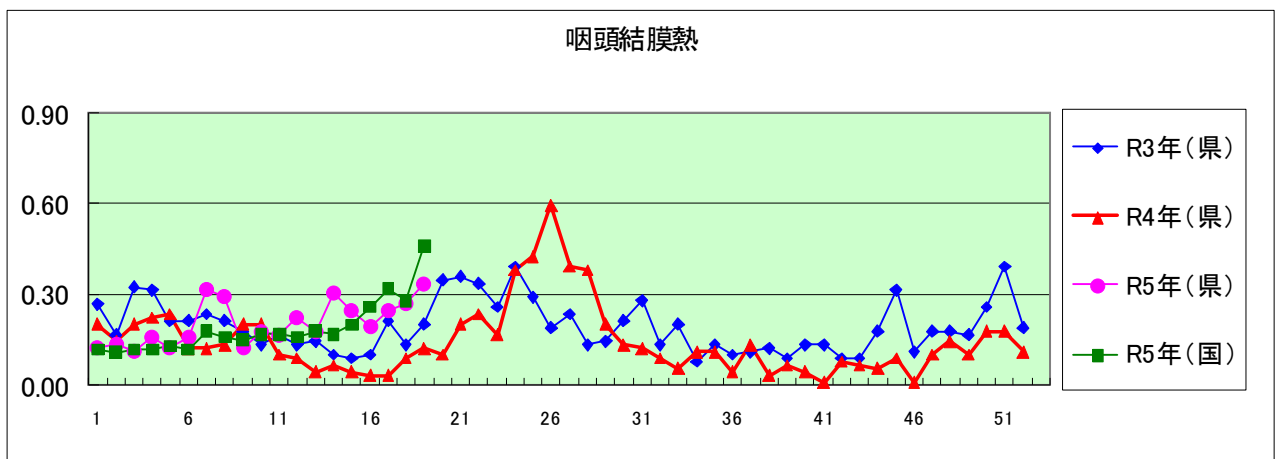
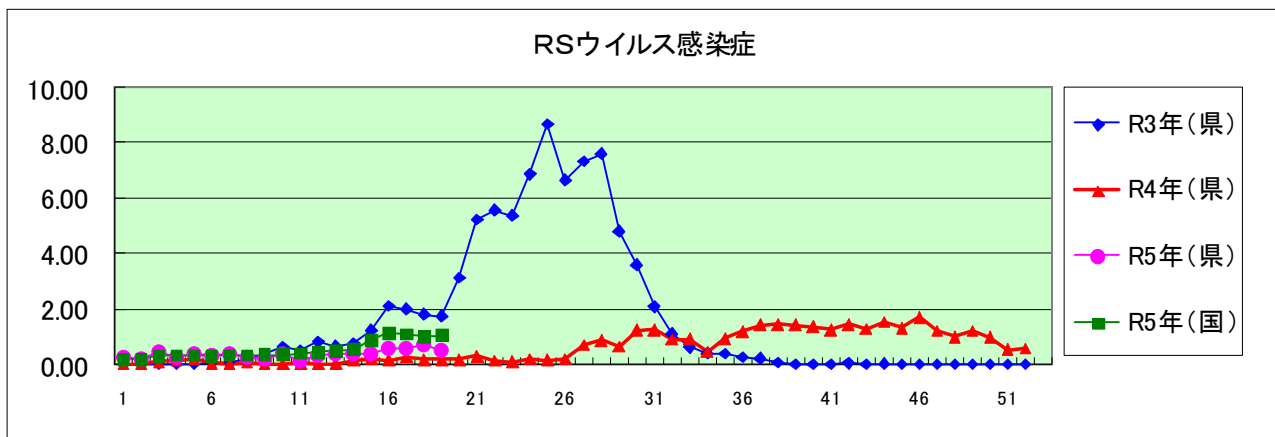
2023年 19 週

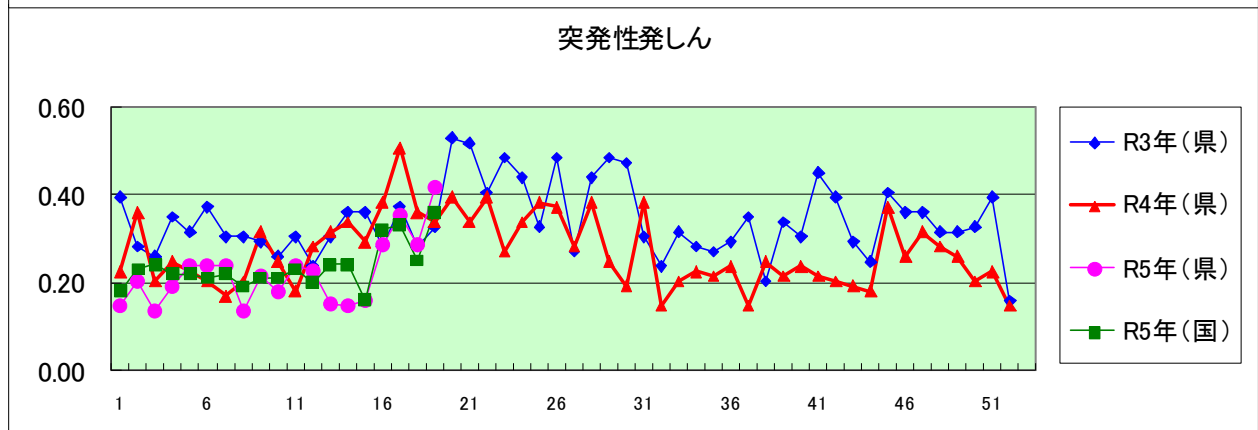
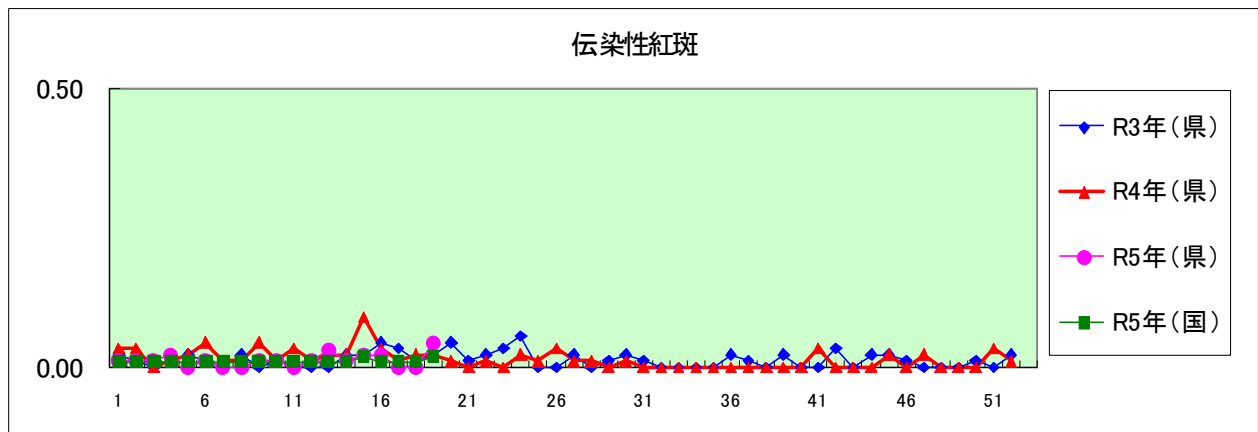
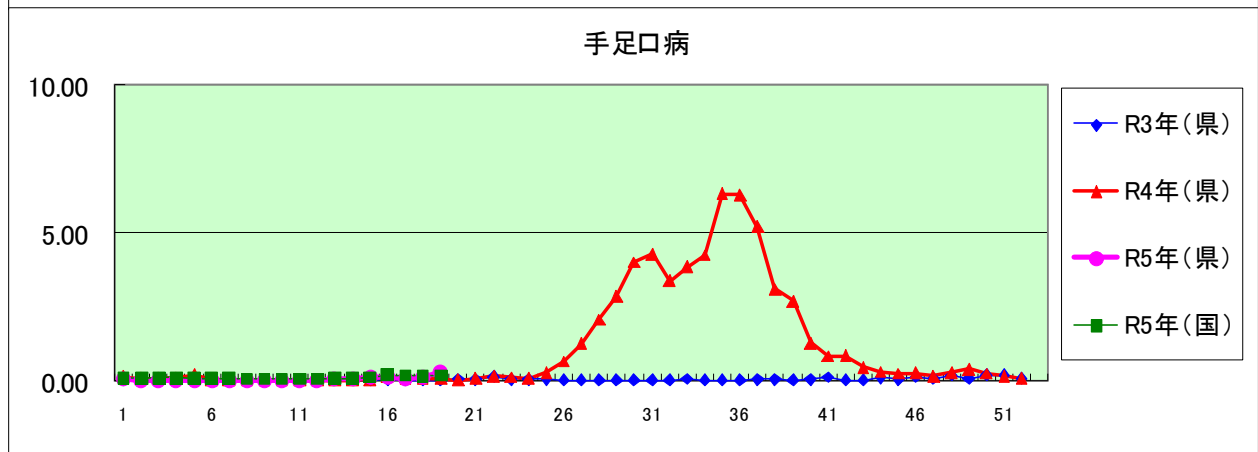
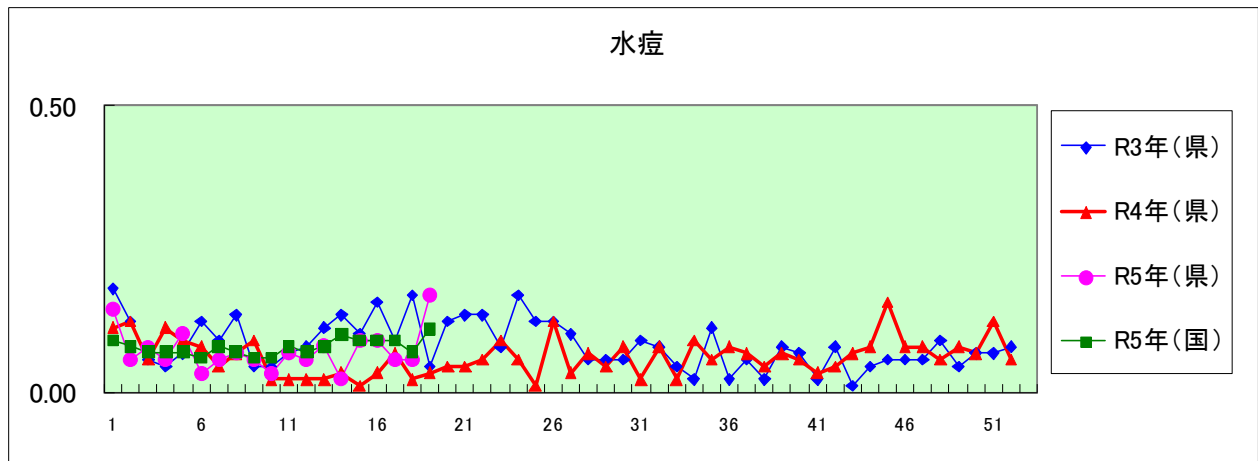
年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃（小児科定点把握感染症分）	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃（眼科定点把握感染症分）	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃（基幹定点把握分）	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	7	9	12	10	3	1	2	1	1													46
咽頭結膜熱		4	12	6	2	1	3					2										30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				3	4	2	10	3	5	3	3	5	1	2								41
感染性胃腸炎	3	26	59	41	48	46	40	29	26	18	12	47	4	9								408
水痘		1			2	1		2	1	1	3	3	1									15
手足口病		2	5	7	3	3	2		1		2	1										26
伝染性紅斑			2					2														4
突発性発しん		8	23	5		1																37
ヘルパンギーナ		1	3	6	2	3						1										16
流行性耳下腺炎							1															1
インフルエンザ			4	5	5	14	8	15	7	6	13	22	11	4	8	4	1	1	1		129	
新型コロナウイルス感染症	5	5	5	5	2	5	3	4	2	2	4	27	25	32	29	45	40	17	17	16	290	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎	1													1	1	1					4	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎																						
クラミジア肺炎（オウム病は除く）																						
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）																						

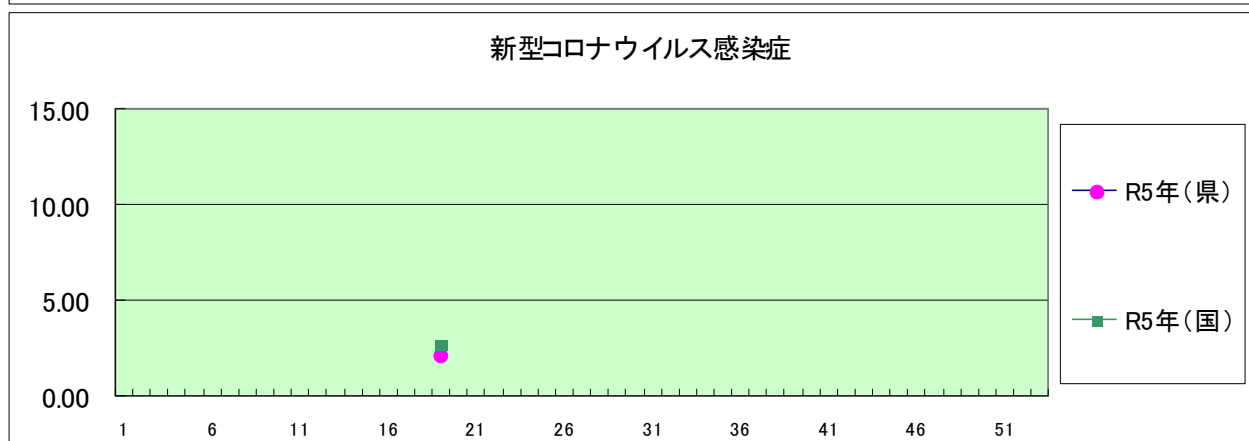
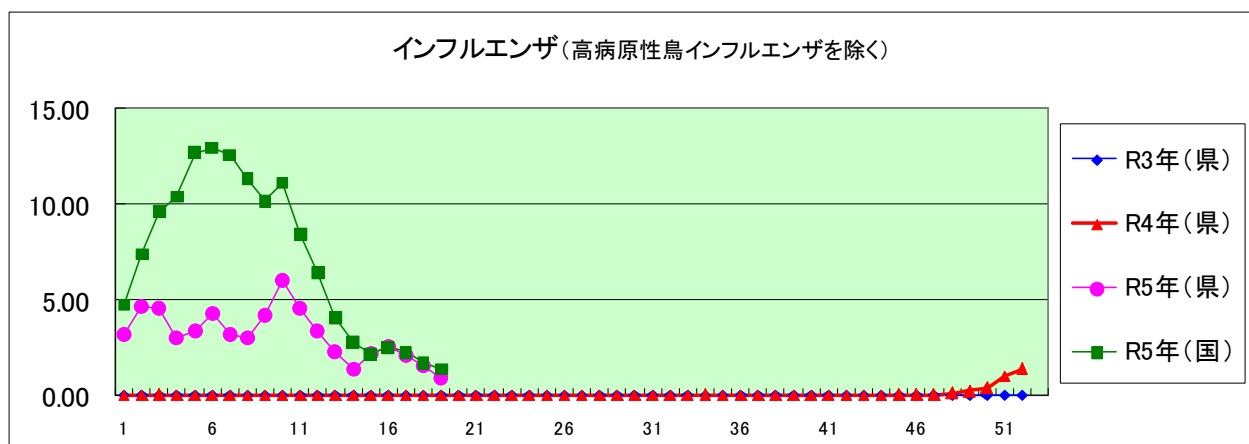
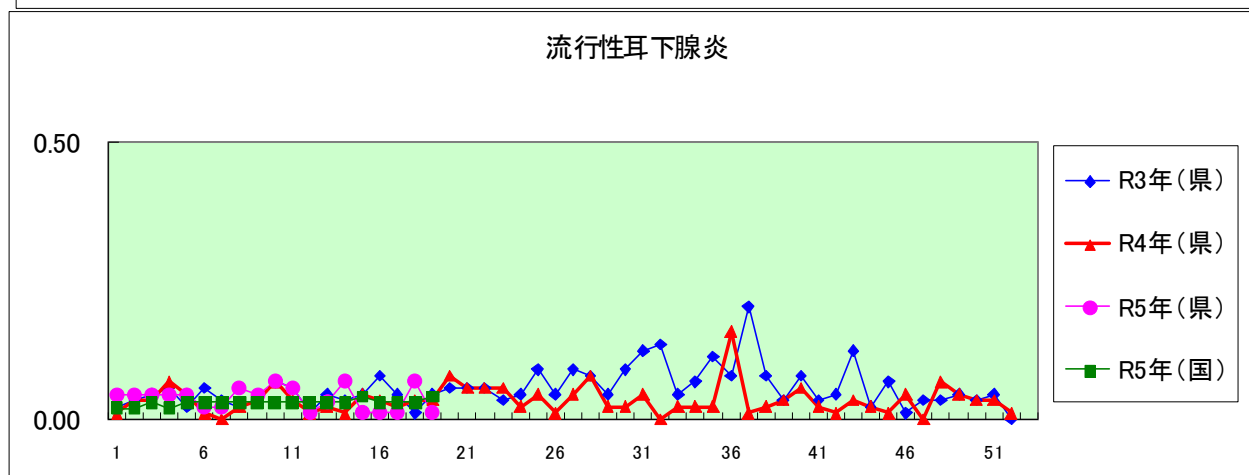
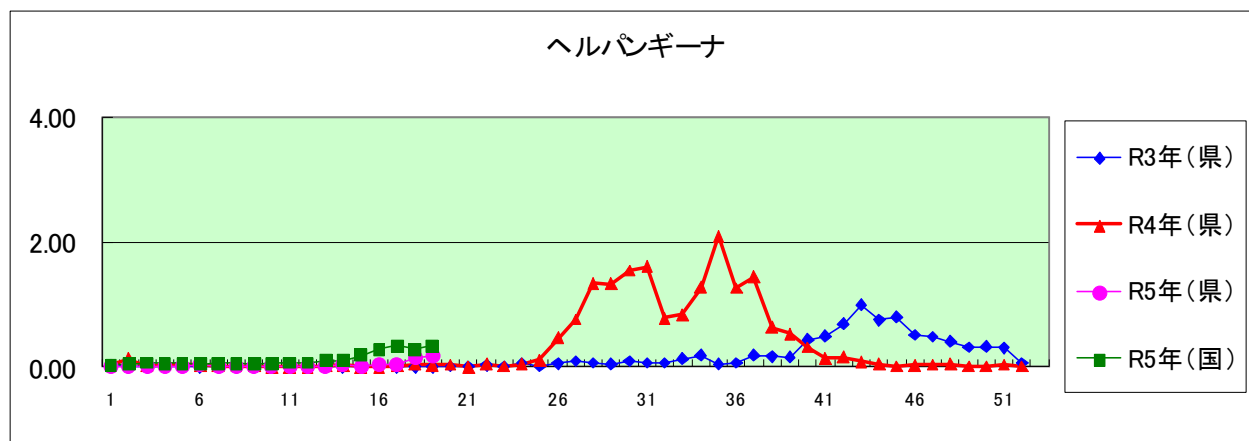
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

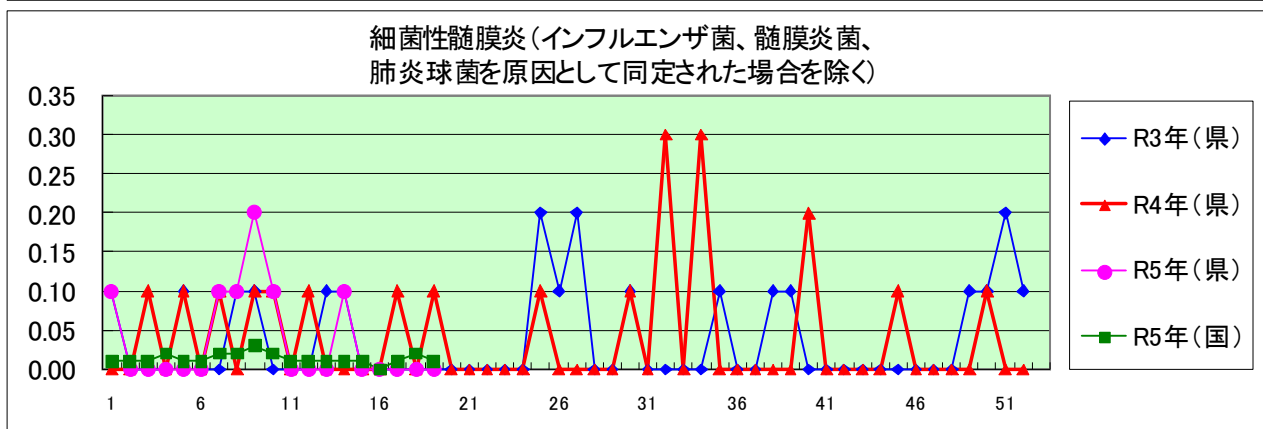
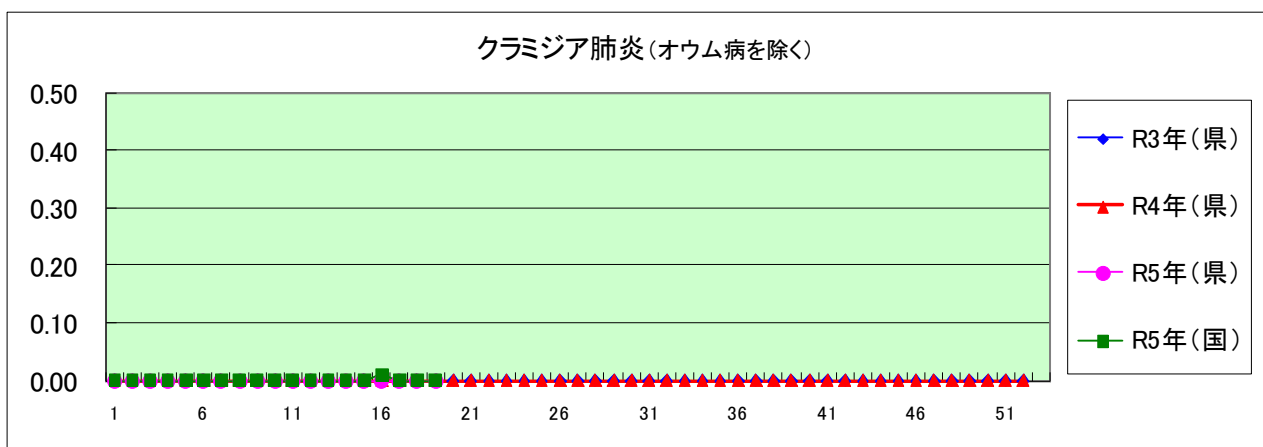
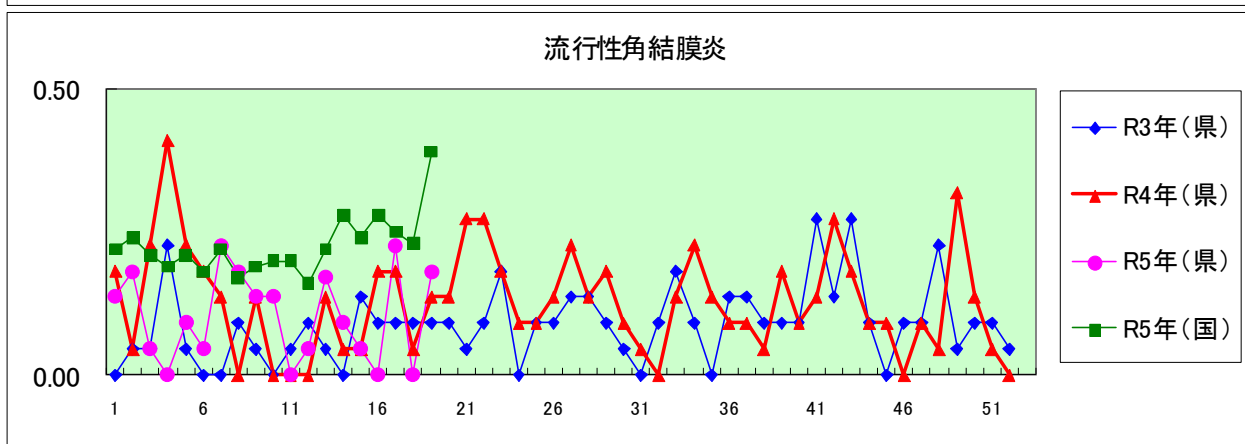
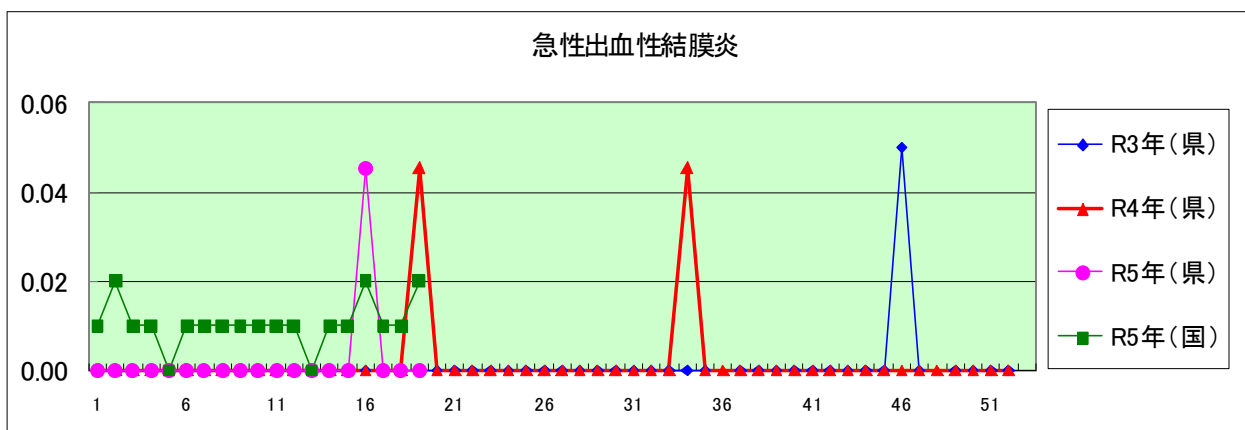
2023年 19 週

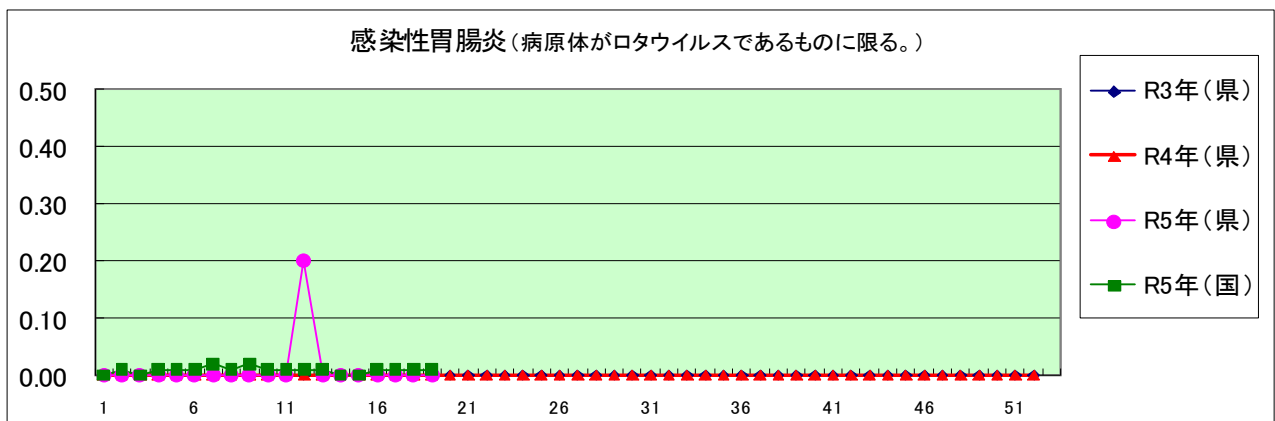
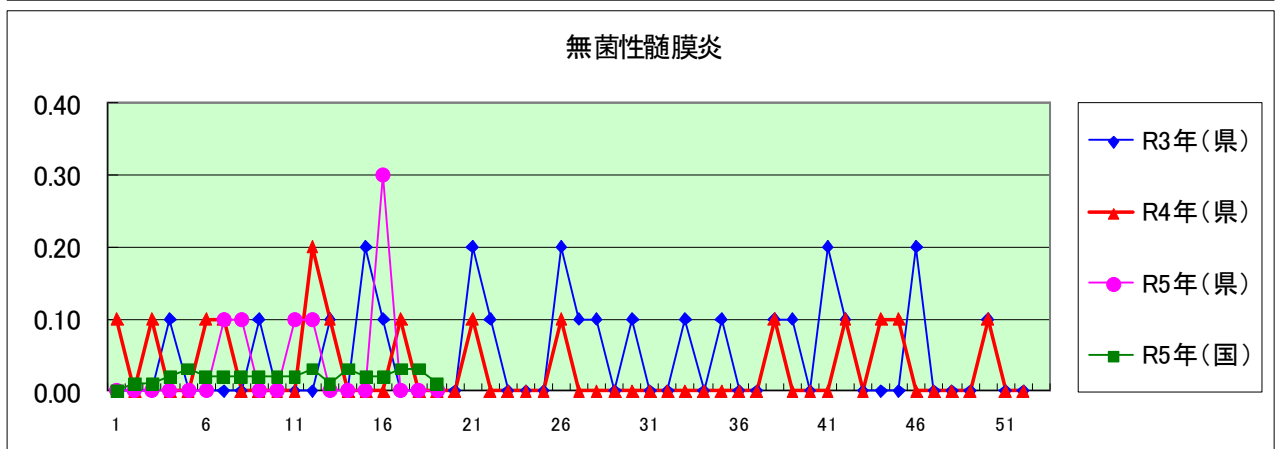
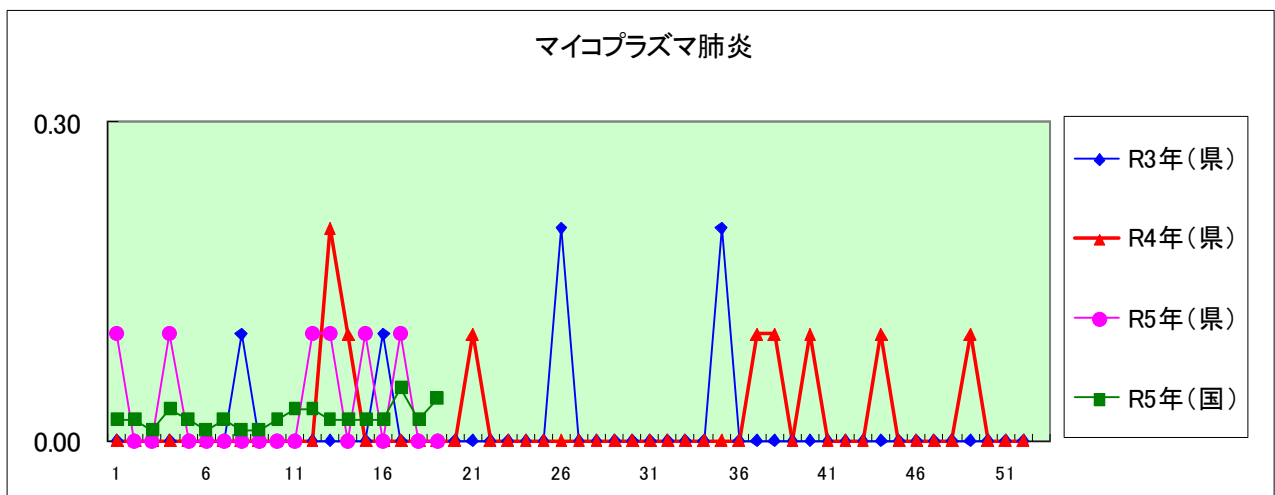
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計	
〃（小児科定点把握感染症分）	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
〃（眼科定点把握感染症分）	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
〃（基幹定点把握分）	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
RSウイルス感染症	0.08	0.10	0.14	0.11	0.03	0.01	0.02	0.01	0.01												0.5	
咽頭結膜熱		0.05	0.14	0.07	0.02	0.01	0.03					0.02									0.3	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎				0.03	0.05	0.02	0.11	0.03	0.06	0.03	0.03	0.06	0.01	0.02							0.4	
感染性胃腸炎	0.03	0.30	0.67	0.47	0.55	0.52	0.45	0.33	0.30	0.20	0.14	0.53	0.05	0.10							4.5	
水痘		0.01			0.02	0.01		0.02	0.01	0.01	0.03	0.03	0.01								0.1	
手足口病		0.02	0.06	0.08	0.03	0.03	0.02		0.01		0.02	0.01									0.2	
伝染性紅斑			0.02					0.02													0.0	
突発性発しん		0.09	0.26	0.06		0.01															0.4	
ヘルパンギーナ		0.01	0.03	0.07	0.02	0.03						0.01									0.1	
流行性耳下腺炎							0.01														0.0	
インフルエンザ			0.03	0.04	0.04	0.10	0.06	0.11	0.05	0.04	0.09	0.16	0.08	0.03	0.06	0.03	0.01	0.01	0.01		0.9	
新型コロナウイルス感染症	0.04	0.04	0.04	0.04	0.01	0.04	0.02	0.03	0.01	0.01	0.03	0.19	0.18	0.23	0.21	0.32	0.29	0.12	0.12	0.12	2.0	
急性出血性結膜炎																						
流行性角結膜炎	0.05													0.05	0.05	0.05					0.1	
細菌性髄膜炎																						
無菌性髄膜炎																						
マイコプラズマ肺炎																						
クラミジア肺炎（オウム病は除く）																						
感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）																						











定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	88	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、百日咳、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ
内科	50	インフルエンザ
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎（オウム病を除く）、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎（病原体がロタウイルスであるものに限る。）

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 4 月

	静岡県							全国				
	11月	12月	1月	2月	3月	今月	計	1月	2月	3月	今月	計
性器クラミジア感染症	57	49	49	47	42	43	287	2,456	2,380	2,603	2,512	9,951
性器ヘルペスウイルス感染症	18	19	11	10	14	18	90	694	670	818	758	2,940
尖圭コンジローマ	11	6	10	12	12	20	71	500	526	577	562	2,165
淋菌感染症	11	11	18	11	20	8	79	843	691	857	773	3,164
性器クラミジア感染症(男)	21	18	16	19	12	13	99	1,330	1,227	1,330	1,302	5,189
性器クラミジア感染症(女)	36	31	33	28	30	30	188	1,126	1,153	1,273	1,210	4,762
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	5	4	1	2	7	24	265	249	315	293	1,122
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	13	14	7	9	12	11	66	429	421	503	465	1,818
尖圭コンジローマ(男)	6	3	6	9	1	8	33	326	352	372	379	1,429
尖圭コンジローマ(女)	5	3	4	3	11	12	38	174	174	205	183	736
淋菌感染症(男)	9	6	13	8	12	7	55	631	512	653	585	2,381
淋菌感染症(女)	2	5	5	3	8	1	24	212	179	204	188	783
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	18	10	13	18	18	25	102	1,457	1,209	1,207	1,012	4,885
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								71	70	61	57	259
薬剤耐性緑膿菌感染症								9	10	8	4	31

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 4 月

	静岡県						全国			
	11月	12月	1月	2月	3月	今月	1月	2月	3月	今月
性器クラミジア感染症	1.90	1.63	1.63	1.57	1.40	1.43	2.51	2.42	2.66	2.57
性器ヘルペスウイルス感染症	0.60	0.63	0.37	0.33	0.47	0.60	0.71	0.68	0.84	0.78
尖圭コンジローマ	0.37	0.20	0.33	0.40	0.40	0.67	0.51	0.54	0.59	0.58
淋菌感染症	0.37	0.37	0.60	0.37	0.67	0.27	0.86	0.70	0.88	0.79
性器クラミジア感染症(男)	0.70	0.60	0.53	0.63	0.40	0.43	1.36	1.25	1.36	1.33
性器クラミジア感染症(女)	1.20	1.03	1.10	0.93	1.00	1.00	1.15	1.17	1.30	1.24
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.17	0.13	0.03	0.07	0.23	0.27	0.25	0.32	0.30
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.43	0.47	0.23	0.30	0.40	0.37	0.44	0.43	0.51	0.48
尖圭コンジローマ(男)	0.20	0.10	0.20	0.30	0.03	0.27	0.33	0.36	0.38	0.39
尖圭コンジローマ(女)	0.17	0.10	0.13	0.10	0.37	0.40	0.18	0.18	0.21	0.19
淋菌感染症(男)	0.30	0.20	0.43	0.37	0.40	0.23	0.64	0.52	0.67	0.60
淋菌感染症(女)	0.07	0.17	0.17	0.10	0.27	0.03	0.22	0.18	0.21	0.19
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.80	1.00	1.30	1.80	1.80	2.50	3.05	2.53	2.55	2.14
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.15	0.13	0.12
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.02	0.02	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 4 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	43	1.43	18	0.60	20	0.67	8	0.27
賀茂								
熱海	1	1.00						
東部	6	1.20			1	0.20		
御殿場	1	1.00						
富士	5	1.67	4	1.33	1	0.33	2	0.67
静岡市	19	3.17	8	1.33	8	1.33	5	0.83
中部	4	1.00			1	0.25		
西部	6	1.20	2	0.40	2	0.40		
浜松市	1	0.20	4	0.80	7	1.40	1	0.20

保健所名	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症		薬剤耐性 緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	25	2.50	0		0	
賀茂	1	1.00				
熱海	1	1.00				
東部	3	3.00				
御殿場						
富士	2	2.00				
静岡市	13	6.50				
中部	2	2.00				
西部						
浜松市	3	1.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

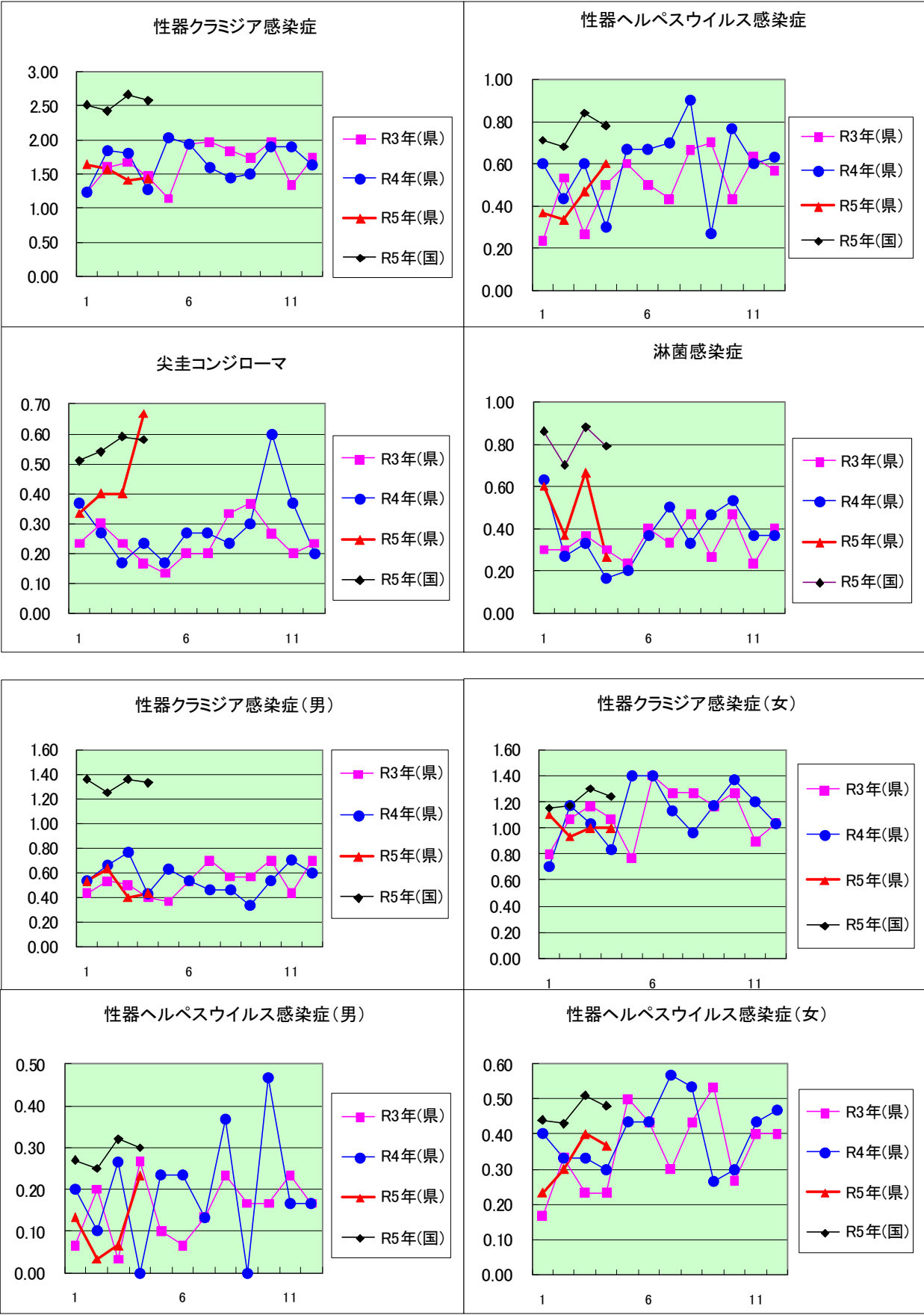
2023年 4 月

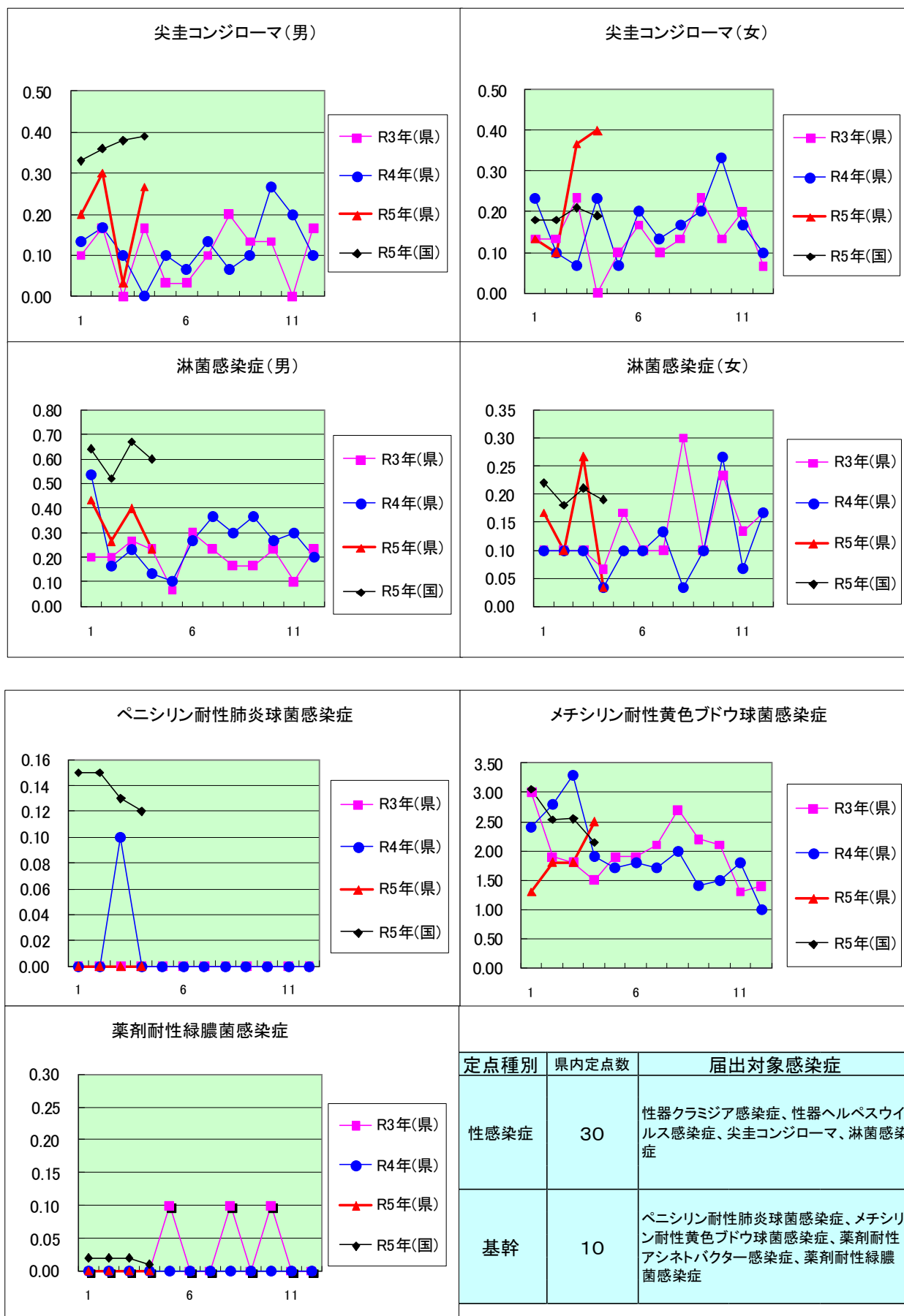
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					4	11	11	7	4	3	2	1					43
性器ヘルペスウイルス感染症						4	1	3	2		4	1		1	1	1	18
尖圭コンジローマ						4	5	4	2	2	2					1	20
淋菌感染症						3	2				1		1	1			8
性器クラミジア感染症(男)						4	1	4	1	2	1						13
性器クラミジア感染症(女)					4	7	10	3	3	1	1	1					30
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						2	1		1		3						7
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						2		3	1		1	1		1	1	1	11
尖圭コンジローマ(男)						1	3	1	1	1	1						8
尖圭コンジローマ(女)						3	2	3	1	1	1					1	12
淋菌感染症(男)						2	2				1		1	1			7
淋菌感染症(女)						1											1
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				1		1				1	1		1	4		16	25
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 4 月

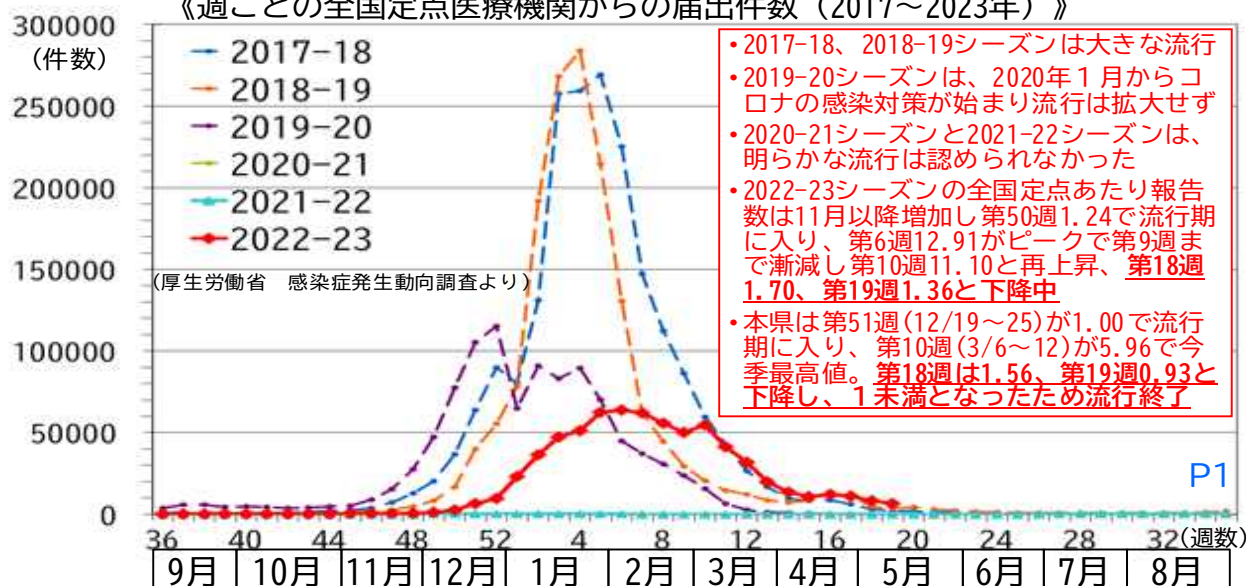
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.13	0.37	0.37	0.23	0.13	0.10	0.07	0.03					1.43
性器ヘルペスウイルス感染症						0.13	0.03	0.10	0.07		0.13	0.03		0.03	0.03	0.03	0.60
尖圭コンジローマ						0.13	0.17	0.13	0.07	0.07	0.07					0.03	0.67
淋菌感染症						0.10	0.07				0.03		0.03	0.03			0.27
性器クラミジア感染症(男)						0.13	0.03	0.13	0.03	0.07	0.03						0.43
性器クラミジア感染症(女)					0.13	0.23	0.33	0.10	0.10	0.03	0.03	0.03					1.00
性器ヘルペスウイルス感染症(男)						0.07	0.03		0.03		0.10						0.23
性器ヘルペスウイルス感染症(女)						0.07		0.10	0.03		0.03	0.03		0.03	0.03	0.03	0.37
尖圭コンジローマ(男)						0.03	0.10	0.03	0.03	0.03	0.03						0.27
尖圭コンジローマ(女)						0.10	0.07	0.10	0.03	0.03	0.03					0.03	0.40
淋菌感染症(男)						0.07	0.07				0.03		0.03	0.03			0.23
淋菌感染症(女)						0.03											0.03
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症				0.10		0.10				0.10	0.10		0.10	0.40		1.60	2.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	





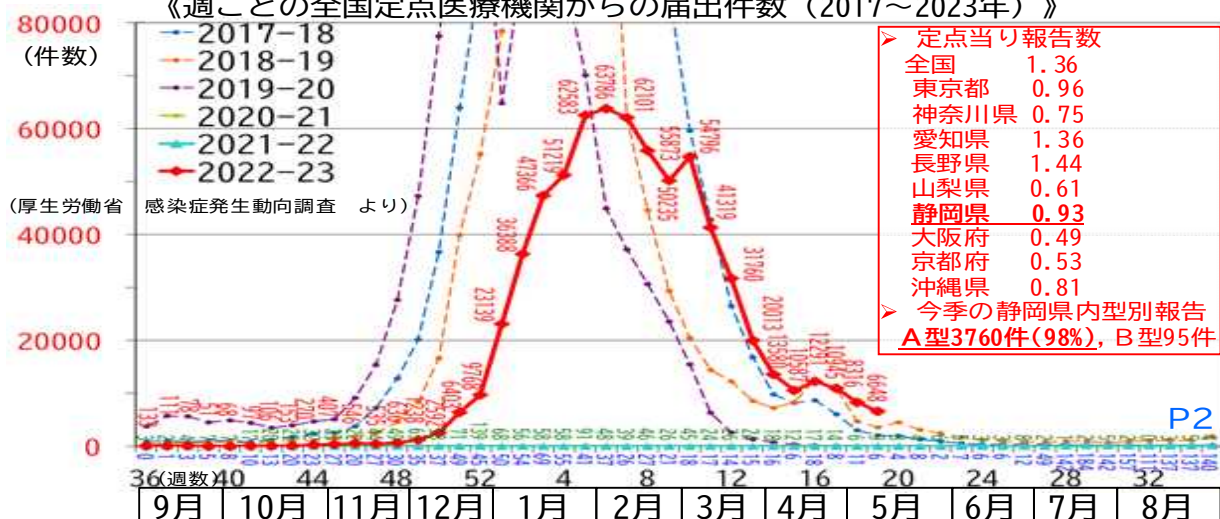
今季のインフルエンザの流行状況（5/8～14 第19週時点）

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数（2017～2023年）》

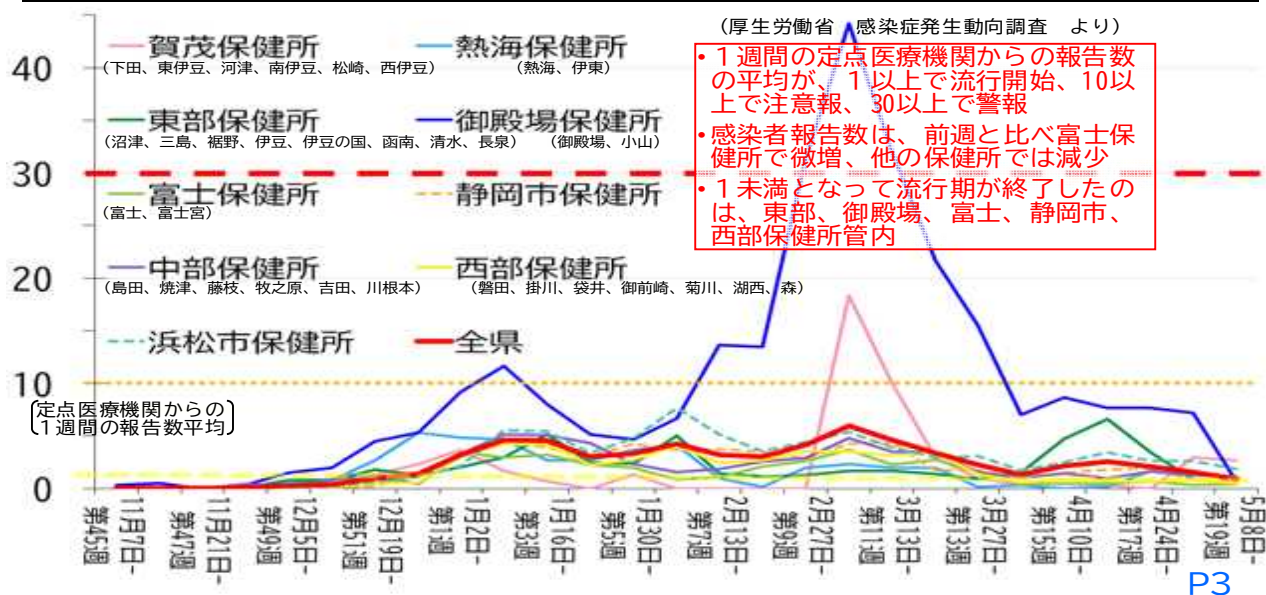


今季のインフルエンザの流行状況（5/8～14 第19週時点）【拡大】

《週ごとの全国定点医療機関からの届出件数（2017～2023年）》

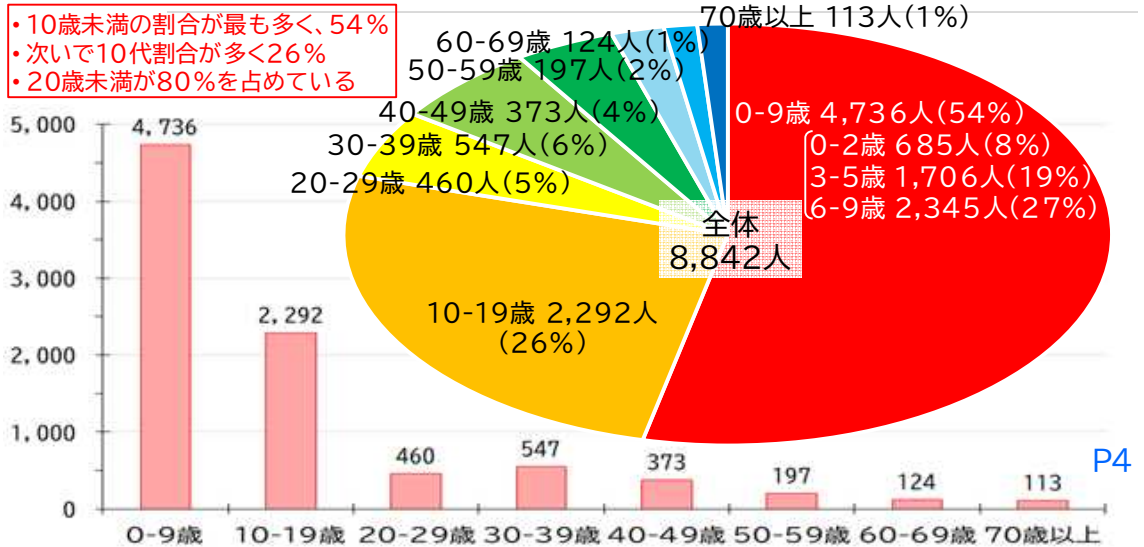


静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数（2022.11/7～2023.5/14）

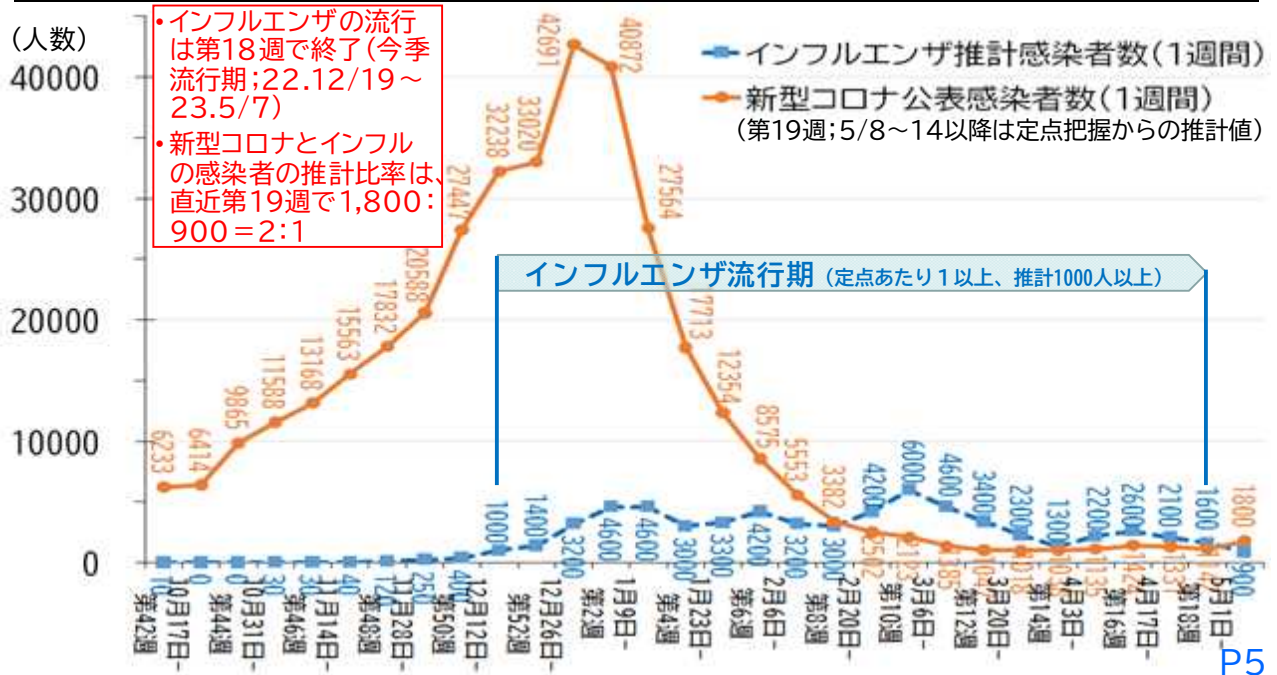


静岡県 今シーズンの季節性インフルエンザ 年齢別の累積報告数・割合

2022年第36週(9/5-9/11)～2023年第19週(5/8-5/14) (政令市含む全県)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022. 10/17～2023. 5/14)



新型コロナウイルス感染症について

令和 5 年 5 月 8 日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5 類感染症」となりました。

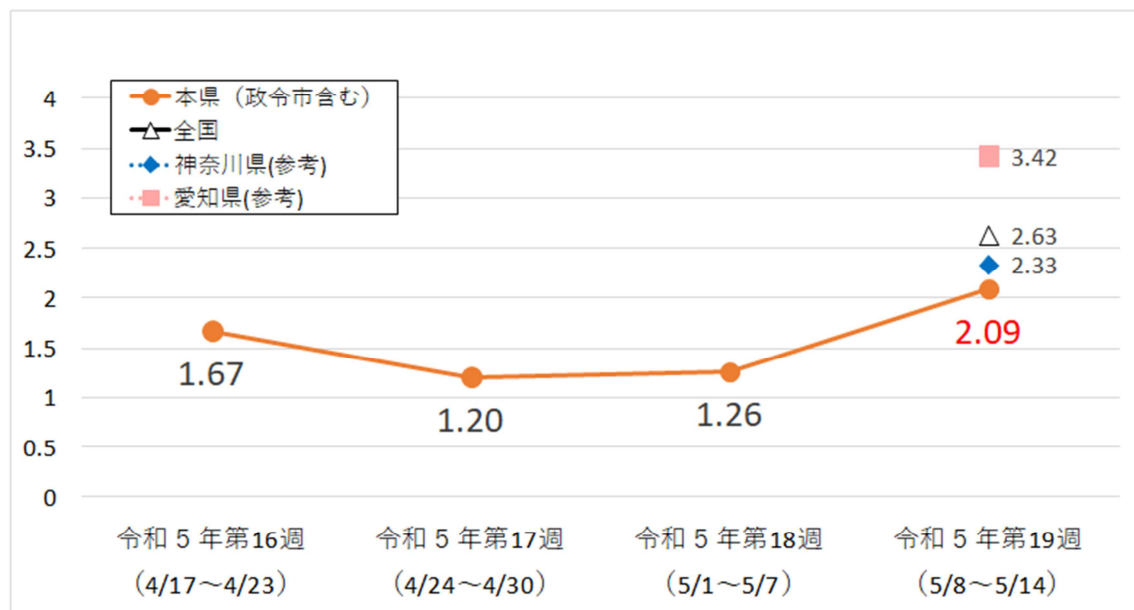
このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を 1 週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）

令和 5 年第 19 週（令和 5 年 5 月 8 日～5 月 14 日）

★令和 5 年第 19 週の感染状況について

- ・ 県全体の定点医療機関当たり患者数は 2.09 人／週で、前週(1.26 人／週)に比べて増加しています。
- ・ この 1 週間の定点医療機関から報告された感染者数は 290 人で、前週(175 人)に比べて 1.66 倍です。
- ・ この 1 週間の全感染者数は、約 1,800 人(1 日平均約 260 人)と推計されます。
- ・ 現在、警報・注意報レベルの保健所、地域はありません。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。国の感染症サーベイランスシステムのデータを使用しているため、本県以外は第 18 週以前のデータはありません。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第19週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	定点医療機関数 (A)	定点医療機関の 感染者数 (B)	定点医療機関当たりの 感染者数 (B/A)
賀茂	3	5	1.67
熱海	6	13	2.17
東部	20	31	1.55
御殿場	6	40	6.67
富士	15	50	3.33
県東部地域	50	139	2.78
静岡市	25	32	1.28
中部	17	31	1.82
県中部地域	42	63	1.50
西部	19	50	2.63
浜松市	28	38	1.36
県西部地域	47	88	1.87
県全体	139	290	2.09

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜4週間の推移＞

保健所名	定点医療 機関数	令和5年第16週 (4/17~4/23)	令和5年第17週 (4/24~4/30)	令和5年第18週 (5/1~5/7)	令和5年第19週 (5/8~5/14)	前週比推移	県独自の 注意報 レベル※
賀茂	3	1.00	0.33	0.67	1.67	↓↑↑	13以上
熱海	6	1.17	2.00	2.83	2.17	↑↑↓	9以上
東部	20	1.80	0.85	1.20	1.55	↓↑↑	8以上
御殿場	6	9.67	5.50	4.00	6.67	↓↓↑	17以上
富士	15	2.20	1.47	2.40	3.33	↓↑↑	11以上
県東部地域	50	2.74	1.70	2.06	2.78	↓↑↑	10以上
静岡市	25	1.40	0.68	0.40	1.28	↓↓↑	6以上
中部	17	0.82	0.76	1.06	1.82	↓↑↑	8以上
県中部地域	42	1.17	0.71	0.67	1.50	↓↓↑	7以上
西部	19	1.63	1.26	1.05	2.63	↓↓↑	10以上
浜松市	28	0.54	1.00	0.86	1.36	↑↓↑	7以上
県西部地域	47	0.98	1.11	0.94	1.87	↑↓↑	8以上
県全体	139	1.67	1.20	1.26	2.09	↓↑↑	8以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして保健所ごとに設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で、注意報レベルということになります）

4 警報・注意報

現在、警報・注意報レベルの保健所、地域はありません。

5 感染者全数の推計値

保健所名	定点医療機関の 感染者数 (A)	管内の 定点割合 (B)※ 1	管内の感染者 全数の推計値 (A/B) ※ 2
賀茂	5	0.335	-
熱海	13	0.268	-
東部	31	0.150	-
御殿場	40	0.505	-
富士	50	0.215	-
県東部地域	139	0.221	629
静岡市	32	0.109	-
中部	31	0.154	-
県中部地域	63	0.125	504
西部	50	0.166	-
浜松市	38	0.117	-
県西部地域	88	0.134	657
県全体	290	0.158	1835

※ 1 定点割合

令和 4 年 10 月 3 日から令和 5 年 5 月 7 日までに定点医療機関から報告のあった感染者数を、この期間の全感染者数で割った値。

例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の 15.8% (0.158) でした。

※ 2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の感染者数を定点割合で除して算出しており ($A \div B$)、県全体の感染者数の全数は、 $290 \div 0.158 = 1835$ 人と推計されます。

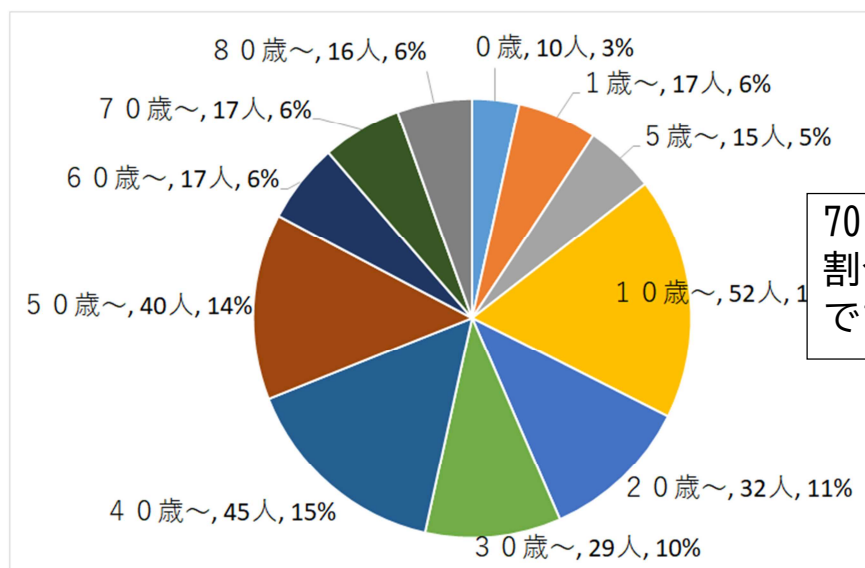
各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。

なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

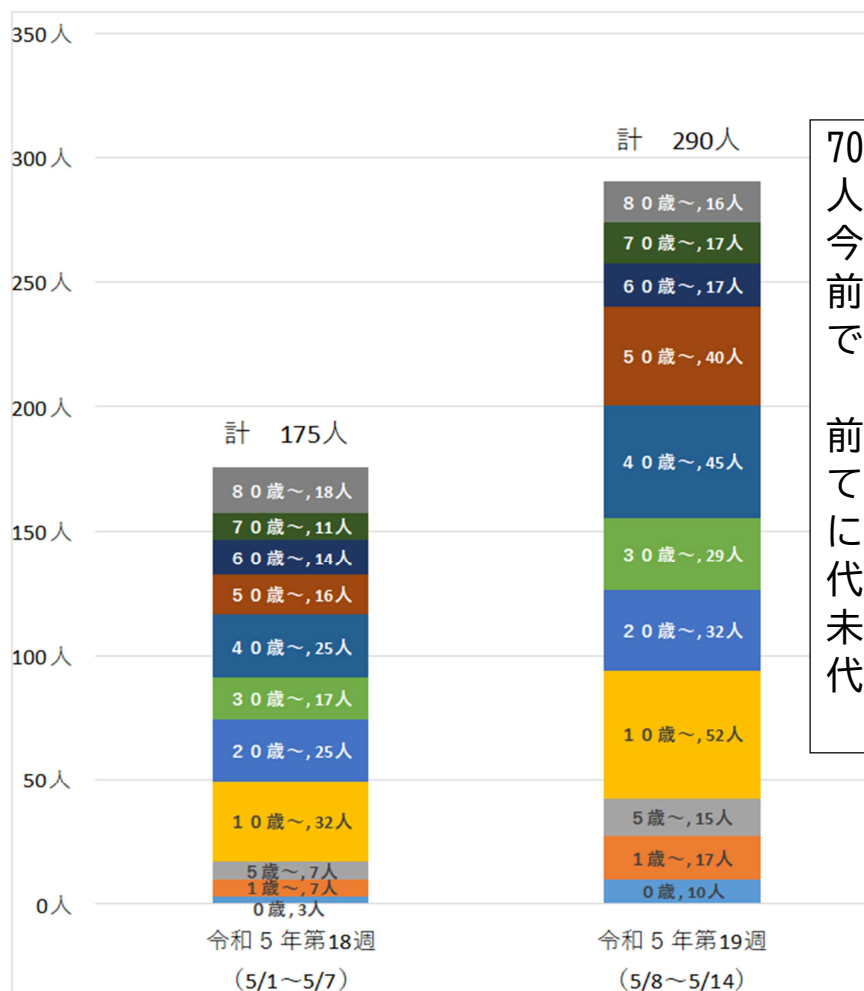
6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0 歳	1 歳～	5 歳～	10 歳～	20 歳～	30 歳～	40 歳～	50 歳～
10人	17人	15人	52人	32人	29人	45人	40人

60 歳～	70 歳～	80 歳～	不明	合計
17人	17人	16人	0人	290人



70 歳以上の割合は 11% です。



70 歳以上の人数は、今週は 33 人、前週は 29 人です。

前週に比べて 2 倍以上になった年代は、10 歳未満と 50 歳代です。

7 令和5年5月8日以降（令和5年春開始接種） 高齢者（65歳以上）の3～6回目接種の実績

集計期間	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第19週 (5/8～5/14)	37,927	37,927	3.44%	2.87%

接種対象者のうち、高齢者以外の基礎疾患のある者、医療従事者及び高齢者施設等従事者は、上表には含まれません。

令和5年春開始接種の概要

○接種時期 令和5年5月8日開始

○接種対象者 2回以上の接種を完了し、以下に該当する者

- ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者（接種の努力義務あり）
- ・医療従事者及び高齢者施設等従事者（接種の努力義務なし）

○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可

- ・オミクロン株対応2価ワクチン（ファイザー社及びモデルナ社） 前回接種から3か月以上経過
- ・武田社ワクチン（ノババックス） 前回接種から6か月以上経過

以下の変異株に関する項目について、感染者数の減少に伴いゲノム解析数が減少しているため、4月3日（月）分から当面の間、2週間ごとに集計します。

（本日は、5月1日（月）～5月14日（日）分の集計）

8-1 変異株ゲノム解析結果について（政令市除く）

4月中旬に発症した方について、国立遺伝学研究所（三島市）において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。（県所管分）

（結果判明日：5月1日（月））

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株 (内BA.2) (内BA.5) (内組換え体)	0	0	0	0	0	1	4	5
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(3)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(1)	(2)

8-2 本県の変異株の判明状況（5月14日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	9,826	5,556	2,266	2,004
	(前回からの増加数)	(7)	(6)	(0)	(1)
	デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	7,415	4,300	1,618
		(前回からの増加数)	(7)	(6)	(0)
	※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,404	660	416
		(前回からの増加数)	(3)	(3)	(0)
	※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,511	2,385	842
		(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)
	※オミクロン株 【内、組換え体】	判明者数	26	14	10
		(前回からの増加数)	(4)	(3)	(0)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（5月14日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換え体	BA.2	BA.5	組換え体
3月6日(月)～ 3月12日(日)	12	3	9	0	25.0%	75.0%	0.0%
3月13日(月)～ 3月19日(日)	15	1	13	1	6.7%	86.7%	6.7%
3月20日(月)～ 3月26日(日)	13	1	12	0	7.7%	92.3%	0.0%
3月27日(月)～ 4月2日(日)	21	3	17	1	14.3%	81.0%	4.8%
4月3日(月)～ 4月16日(日)	18	1	10	7	5.6%	55.6%	38.9%
4月17日(月)～ 4月30日(日)	7	0	2	5	0.0%	28.6%	71.4%
5月1日(月)～ 5月14日(日)	7	3	0	4	42.9%	0.0%	57.1%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（5月1日～5月14日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	3	42. 9%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	4	57. 1%
その他	0	0. 0%
計	7	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。

提 供 日 2023/05/12
タイトル 東京都における麻しん（はしか）患者の発生について
担 当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連 絡 先 感染症対策課
TEL 054-221-2986



危機管理情報
～東京都で麻しん（はしか）患者が発生しました～
接触した可能性がある方は、体調に注意してください！

1 要旨

5月10日と11日に東京都で麻しん患者が2名発生し、別添のとおり、東京都が注意喚起しています。患者のうち1名が周囲へ感染させる可能性がある期間に、静岡県内で公共交通機関を利用してため、接触した可能性がある方は、「2 患者と接触した可能性がある方へ」について、お願いします。

なお、今回発生した患者2名は、いずれも5月1日に報道提供した茨城県で発生した患者と、同じ新幹線を利用していました。

【共通して利用した公共交通機関】

4月23日（日曜日）

新神戸（18:52発）
↓
東海道・山陽新幹線のぞみ50号東京行 9号車（グリーン車）
↓
東京（21:33着）

【感染性のある期間に今回の東京都の患者が利用した公共交通機関】

5月4日（木曜日）

三島（18:54発）
↓
東海道新幹線こだま740号東京行 10号車（グリーン車）
↓
新横浜（19:29着）

2 患者と接触した可能性がある方へ

- 麻しん患者と接触した場合は、接触後最大21日間、体調に注意してください。
- 発熱、発疹等の症状から「麻しん」が疑われる場合は、必ずマスクを着用し、事前に医療機関に「麻しん患者と同じ新幹線を利用した」ことを連絡の上、速やかに受診してください。
- 受診の際は、周囲の方へ感染を拡げないよう、公共交通機関等の利用を避けてください。

3 麻疹について

(1) 症状等

潜伏期は通常10～12日間（最大21日間）であり、38℃程度の発熱や咳、鼻汁といった風邪のような症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱と共に発疹が出現します。また、麻疹に伴ってさまざまな合併症がみられ、全体では30%にも達するとされます。肺炎や、頻度は低いものの脳炎の合併例もあり、特にこの二つの合併症は麻疹による2大死因となり、注意が必要です。

(2) 感染経路

空気（飛沫核）感染のほか、飛沫や接触感染など様々な経路があります。感染力はきわめて強く、麻疹の免疫がない集団に1人の発症者がいたとすると、12～14人の人が感染するとされています（インフルエンザでは1～2人）。

(3) 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

(4) 予防

ワクチンの効果は非常に高く、ワクチン接種を受けた人の95%以上が免疫を獲得します。しかし、接種しても、数%は免疫が獲得できない場合や、獲得した免疫が持続しない場合があります。現在、1歳（第1期）と小学校入学前年度（第2期）に、MRワクチンの定期予防接種を実施しており、**予防接種をしていれば感染するリスクは少なくなります。麻疹は予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる有効な予防方法です。麻疹の定期予防接種をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。**

(5) 発生状況（単位：人）

年	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
全国	744	10	6	6	6
静岡県	10	1	0	2	0

麻しん（はしか）患者の発生について

都内の医療機関を受診していた以下の方について、検査の結果、麻しん（はしか）の陽性が確定しました。

【患者の概要】

No.	性別	年齢	症状	ワクチン接種歴	発病年月日	発生届出年月日
1	女性	30代	発熱・発疹・咳	なし	5月3日	5月10日
2	男性	40代	発熱・発疹・咳	不明	5月3日	5月11日

※ 当該患者は現在入院中です。保健所において疫学調査を実施し、接触者の健康観察を実施しています。

※ 患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段の御配慮をお願いいたします。

患者の疫学調査を実施したところ、令和5年4月28日に茨城県において報道発表を行った麻しん患者との接触歴（同じ公共交通機関を利用）が確認されました。

また、周囲に感染させる可能性のある時期に、不特定多数の人が利用する施設を利用して、いたことが判明しました。

【共通して利用した公共交通機関及びその区間】

4月23日（日） 東海道・山陽新幹線 のぞみ50号 9号車（グリーン車）
（新神戸駅18：52発⇒東京駅21：33着）

（参考）茨城県報道発表

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/yobo/kiki/yobo/kansen/idwr/press/documents/mashin.pdf>

【感染性を有する期間に患者が利用、不特定多数の方と接触した可能性のある公共交通機関】

5月4日（木） 東海道新幹線 こだま740号 10号車（グリーン車）
（三島駅18：54発⇒新横浜駅 19：29着）

上記公共交通機関を利用された方は体調に注意し、麻しんを疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、必ず事前に医療機関に連絡し、麻しんの疑いがあることを伝えてください。受診の際は公共交通機関の利用を控えて医療機関の指示に従って受診してください。

＜都民の皆様へ＞

- 麻疹は感染力がきわめて強い感染症で、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現するとされています。

- **麻疹は予防接種で防げる病気であり、ワクチン接種は個人でできる有効な予防方法です。**

麻疹の定期予防接種（第1期：1歳児、第2期：小学校就学前の1年間）をまだ受けていない方は、かかりつけ医に相談し、早めに予防接種を受けましょう。

（麻疹に関する基礎知識や予防接種及び相談について、詳細はこちら➡）



- 麻疹を疑う症状（発熱、発疹、咳、鼻水、目の充血等）が現れた場合は、必ず事前に医療機関へ連絡し、麻疹の疑いがあることを伝えてください。受診の際は公共交通機関の利用を控えて医療機関の指示に従って受診してください。

(参考) 麻疹(はしか)とは

1 麻疹とは

麻疹は、麻疹ウイルスによる感染症であり、感染症法上の五類感染症です。

2015年にはWPR麻疹排除認証委員会より日本は麻疹排除状態であると認定され、近年の麻疹の発生は輸入症例を端とするものとなります。

世界でも、麻疹の排除(elimination)に向けて、予防接種率の向上等の麻疹対策が強化されていますが、途上国では、いまだに5歳以下の子どもの主な死亡原因となっています。

2 原因と感染経路

病原体は、麻疹ウイルス(measles virus)です。

空気感染が主たる感染経路ですが、その他に、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる「飛まつ感染」、およびウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」もあります。

発症した人が周囲に感染させる期間は、発疹が出現する4日前から発疹出現後4～5日くらいまでです。なお、感染力が最も強いのは発疹出現前の期間です。

3 症状

感染力はきわめて強く、麻疹に対する免疫を持っていない人が、感染している人に接すると、ほぼ100%の人が感染します。感染しても発症しない不顕性感染はなく、全て発症します。典型的には、約10～12日間の潜伏期間の後、38℃程度の発熱及びかぜ症状が2～4日続き、その後39℃以上の高熱とともに発疹が出現します。主な症状は、発熱・発疹の他、咳、鼻水、目の充血などです。

また、合併症として、肺炎、中耳炎、稀に、脳炎、失明等があり、肺炎や脳炎は、重症化すると死亡することもあります。一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

4 治療

特別な治療法は無く対症療法が行われます。感染初期であれば、緊急ワクチン・免疫グロブリンの投与により発症を防止できる可能性もあります。

5 予防のポイント

有効な予防法は、麻疹含有ワクチン接種です。

予防接種法に基づく定期予防接種が計2回(1回目:1歳～2歳未満 2回目:小学校入学前の1年間)行われていますので、対象者の方でまだ接種が済んでいない場合は早めの接種をお願いします。

令和3年度接種率 第1期(1歳児):93.9%

第2期(小学校就学前の1年間):93.2%

(参考) 都内における麻疹患者発生状況(確定例)

	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
東京都	23	124	2	0	0	2